京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金十六錢▲新聞欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久禰一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六大三番 振替口座京城四一五六番
仁川支局 仁川本町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町一番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（五）

在瑞典ストックホルム　三浦彌五郎

惟ふに一國の政府が出來得る丈け多量に行政するを可とするか、將た出來得る丈け人民の自治の分量を多くして政府の行政を成るべく少なくするを可とするかは蓋し政治に關する根本的大問題たるべし然れども實際に於ては治者賢にして被治者愚ならば其の政治は勢ひ官治に傾くべく人民に自治の能力完備するに於ては專制的官治は之を行ふに由なかるべし要するに兩者の關係及び双方の兼合は各國各地一樣に律すべからず殖民地行政の如きは右の關係及兼合の公平なる判斷によりて其の方針を割り出すの外なかるべし。

一、大國強國必ずしも文明國にあらず大國強國の民必ずしも自由幸福の民にあらざるなりスカンヂナビヤ三國は何れも強國にあらず、又丁抹、諾威の如きは大國にもあらざれども其の文明の程度は概して中等以上に位し或事柄に就ては模範として他國に誇示するに足るものあるのみならず其の人民の自由幸福なる一點に至りては予の見る所にてはスカンヂナビヤ三國人は恐くは最高等の部類に列すべきものと思はる單に國土の面積より云ふときは瑞典の十七萬二千方哩は帝國本土の十七萬五千方哩と相匹敵し之に諾威の十二萬四千方哩を加ふるときはスカンヂナビヤ半島の總面積は三十萬方哩に達し我本土に朝鮮の八萬六千方哩、臺灣の一萬四千方哩を加へたるものよりも稍々大なりと雖も該半島の地形たるや北より南に延び其の北部は北極圈內に在りて人類の永住に適せず、北海道に二千足らずのアイヌ人の棲息するが如く瑞諾兩國の最北部には少數のラプランド人棲息し馴鹿を驅りて雪中を縱橫するあるのみ、瑞典が氣候の關係より其の國土を北中南の三部に區分するは朝鮮を北中南の三部に區分するに酷似せり又三南地方の朝鮮の寶庫たるが如く瑞典の最南端のスカニー州は頗る豐饒にして同州に産出する甜菜を以て自國の砂糖の需要全部を充たし得る程の有樣なり。

瑞典諾威に來りて最も強く吾人を刺激する二つの事實は女の多きことゝ外國人の少なきこと是なり瑞典は男子より女子の多きこと十二萬人、諾威は六萬五千人にして總人口の少なき割合に女子の著るしく多數なるは一見異樣の感を與ふれども右は主として少壯男子が北米に移住して歸還するもの少なきに由るものにて聞く所に依れば最近五十年間に瑞典人の北米に移住せるもの二百萬に上るべく諾威にては百萬に達すと云ふ、ストックホルム近傍の地方も冬期五ヶ月間は結氷し土地に犁鋤を入るゝことを許さゞる有樣にして其の代り夏期に入れば夜の十時となりても燈明を要せず、六月下旬には所謂夜半の太陽を見んとて諾威の北岬等に旅行する南歐客少なからず。

內亂の發展と國際法

法學士　蜷川新

（三）內亂と國際法

（一）要論

前述學說竝に實例の示す所の如く交戰主體の問題は內亂に伴ふ必然發生的問題にあらずして其の發生は內亂發生國又は利害關係諸國の事情に基き生じ來るものにして此の情況は永久的のものにあらず單に一時の現象に止り且つ此の主體たるや獨立國家の如く國際法上廣汎權利の主體たるにあらずして單に戰爭法規に關する權利上の主體たるにあり

三、內亂の發展と獨立國家の承認

（イ）概論

內亂の漸く發展し反徒の權勢漸く振興し來るや反徒は自巳自ら獨立を主張して終に各國に承認せられ或は隣接利害關係國の政復的承認に依り獨立國の班に入るものあり。

獨立承認は交戰主體の承認の如く一時的現象にあらず永久的又絕對的にして取消すことを得ざるものとす。

今左に學說竝に實例に基き更に其の性質を明にすべし

（ロ）學說

內亂の發展し來りたる場合に於て如何なる時期に於て又如何なる團體に對し獨立の承認を與ふべきか。

本問は主として對外政策の問題に屬すと雖法律問題としても亦大本的學理なきにあらず今其の綱要を摘示せんか左の如し。

一、一國の分裂又は殖民地分離の問題は國內法又は國內事實の問題にして第三國の干涉す可き國際問題にあらず、唯だ若し其の分離地方が事實上完全なる一國を形勢して永久的存在を示すに當つては各國は國際關係の點より此の新國を觀察し國際團體內の一國として之れを承認す可きや否やの問題を生ずるに至る

二、內亂の發生したる國の政府にして若し先づ自ら其の反徒の獨立を承認したるときは各國は之れを獨立國として承認することを得可し但し事實は多く此れに反し前者は最後に至りて獨立を承認するに至るを普通とす

三、未だ反徒の獨立を得んとして鬪爭しつゝある場合にして其終局の見込尙ほ決定せられざる場合に於ては之れを獨立國として承認する事を得ず。

四、獨立承認の時機は反徒の獨立完全に近く且つ正當政府も最早獨立の承認を拒む能はざる情態に存するを要す。

學說としては尙早の獨立承認は即ち干涉を意義し、國際上不當と認めらる。

（國際法雜誌より）

外事一束

▲土國● 高加索に派兵を中止せんか露國亦北部波斯より速に軍隊を撤退せん

▲議會● に土帝の議會解散權に關する憲法修正案提出され土耳其議會否決す

▲佛國● 新內閣の顏觸れ公表され一般に氣受よく共和黨は特に此の一大國民▲內閣●の成立を祝し佛國の歐洲に於ける權力爲に恢復されんと稱すと云ふ

▲北米● 大陸の西北地方に未知の一新人種米國海軍一武官に依り發見せらる

▲墺國● 僧侶派今猶盛に親伊主義者たる▲外相●エ伯に對し痛烈の攻擊を繼續す

▲現今● 既に一千の海兵を淸國沿岸に有するも米國更に同方面に增兵を企つ

▲露國● 蒙古に領事館新設の意ありとの風說あるも露は軍隊增員の外意無云

●京城新春句抄

野崎小蟹 催

◎初凪◎女禮者◎山笑◎梅

丘に登れば漁歌聞く笑ふ山も見て
睛着唄も初凪に總戸鎖したる　靜軒
筏組むも見し橋越せば梅の村
四溫の晴れ女禮者へ毬それて　目池
落馬傷癒ゆ祝かん山笑ふ頃
氷渡れば隣り國初凪の鳰
瓦礫愛づれは書淫とも山笑ふ　烏堂
梅日和餞鳴らす穴一の子等
梅もや、咲く四輪女禮者見て
初凪の湖八氣駒に紅飾り
砂金埋めし港あり山笑ふ國　不考郎
ざうめきの門移りや女禮者が
母國今や沖豊か初凪に
碧蹄の鬼哭偲びを山笑ふ日に　梅村
梅に越す河原水車羽折れなど
魁すに虛榮女御慶を新領の梅
太鼓にふき御座船の興も初凪
陸行二日の溫泉泊りや笑ふ山
登材の丸太起しも初凪日　旗人
波止に立つ迎船や鳥山笑ふ
蓋髮垢面の志士をなぞ山笑ふ　法蘇
初凪や磯に漁人の高笑ひ
濱山は長白は灰色にこそ笑へ
梅に酒酒して家味や月に遺らん　湖東
梅の案內孤獨の恨み羽織破れても
女禮者一擧一動けやけくも　子角
艶名高かゝりしも女禮者かな　小蟹
鶴千羽初凪濱邊あちこちす

梁川庄八

小金井蘆洲演

第八十一回

庄『成程な田舍には能く然う云事がある』勇『瀧ケ瀧村の若者頭萬八は野村伴藏の賴みでございますから、早速承知をして其手筈をして相待て居るとも知らず、私は右近を伴れて參詣に參りました所が、ソレ來たと云聲を相圖に私を突然擔いで瀧壺に打込まうと致しました、夫を其齋藥屋才助と云方が……只今御話し申上げました……が口を利いて呉まして、お蔭で恙なく家へ戻りましたが、其處で野村伴藏は大に怒つて萬八に對ひ、手前は鼻藥を快よく取つたから、十分俺の望みを叶へて呉る事とばかり思つて居たに、齋藥屋風情が仲人に這入つたからとて、其者に任せてむざ／＼勇吉を自家へ歸したと云のは何う云譯だ不埒千萬な奴だ、然う云者は此村方に置く事は出來ない人別帳を除いて此村方を追放するから然う思へ、是迄は兇狀のある手前を不憫と思つて俺が人別帳に加へて此村方に置たが、其恩人の俺の云事を聞かぬと云ふやうな奴では、俺が村へは置く譯にはいかぬと伴藏が萬八を威嚇かしたそうです、其苦し紛れに夫ぢやあ宜うございます、今日の喧嘩の紛紜まぎれに今夜長右衛門方に忍入て、吃度お前さんの怨みを晴らして上げませうと、云ふと云事は誰云ふとなく洩れて私の耳に這入りました、私共親父が殺されましてからと云者は、野村伴藏と萬八とは殊の外仲睦まじくなりました、毎度此新町の和泉屋と申す料理屋へ揚つて酒を呑み又は遊女に戯れて平百姓の萬八が伴藏の前で大安座をかいて、酒を飲むと云やうな譯で、全然友達のやうな間柄、折々は萬八が博奕場へ出這入を致し負けると、伴藏に資本を借り、賭場へ行くそうでございます、却々小前の百姓が名主の前で博奕なぞを打つと云事抔は噯にも出せない筈の者、夫を表面資金まで借りて行くと云樣な次第柄でございますから、伴藏が萬八に惡い尻を押へられて居るに違ひないと內々私に告げて呉る者も有ますけれ共確とした證據がございませんから仕方なく案て置きますが、何か證據を擧げて押へたいと思つて居ります、心當りと申ますは此邊の事でございます』と長々の話を聞いた梁川庄『ウーム……尤千萬な事だ其位な疑はこりや掛けべき事だ、宜しい明日は一同歸村するが宜しい、我等は下山致して甲府の城下へ宿を取り、野村伴藏と萬八の兩人を捕へて嚴しく吟味を致したならば、必ず白狀致すに相違ない、齋藥屋の難儀は晴るに違ひない、其方の親の仇敵は復うてやる、甲府は何と申處に旅舍があるか』勇『ヘー柳町と申處にございます』庄『其處で一番宜い旅舍は何と云の』勇『ヘー三桝屋喜平次と申ますのが一番宜しい上旅舍でございます』庄『左樣か然らば其家に泊りを取るから、遲くて十日早ければ三日の中には齋藥屋を助ける工夫を付けるから心配致すな、何か不素萬人と伴藏等が酒でも飲む家は何處だ』勇『ヘエ、夫は其若王子新町と申しまして、手前共から一寸一里斗り離れて居る處にチヨッとしました在町があります』庄『ウム……』勇『其在町に和泉屋と申ます料理屋がございます、土地では第一等の料理屋で客種もなか／＼宜しうございますが、伴藏等は何時も其家で酒食を致し密賣婦抔を呼んで羅泊りを致すそうでございます』庄『夫りやあ能い事を聞いた、夫でまあ大概話は届きそうだ……ぢやあ其所存で明日は歸村致すが宜かあう』と梁川は請合ました、些と安請合のやうではありますが、果斷な人ですから斯の如くに請合た』庄『是れ一同委細は勇吉から承はつたが、確と拙者が請合た、長左衛門を殺した奴を捕へて其齋藥屋の寃を雪いでやるから安心して明朝は顯主勇吉同道で一ト先づ下山して歸村致せ……夫が宜からう』一同『ヘエー誠に有難う存じます何分共宜敷願ひます……全くれ祖師樣の御利益が現はれて有難い者だ……』向『夫に違ひねへ籠りを始めて今日が七日目で早速御利益が現はれるとは枯木に花……南無妙法蓮華經南無高祖日蓮大菩薩樣南無妙法蓮華經』と一同大聲を擧げて拜みながら、夜の明けるを今や遲しと相俟つ中に、鷄鳴き渡りますれば、空は長閑にして身延の御山に旭日の當る麗かさ、今朝は一際冴へ／＼しき心地が致しまする、軈て御開帳があつて梁川始一同揃ふて祖師へ禮拜を遂げまする、取分け庄八は父の冥福を祈つて一同の者と下山を致しました。



東京電話

▲參謀總長親補式　奧參謀總長は元帥府に入り長谷川大將は其後任となり二十四日親補式舉行さるべしと

▲四中將昇進說　停年滿期に達する上田中將の昇進と同時に木越石本依田の三中將も大將に昇進すべしと傳へらる

▲御歌會は廿三日　宮中御歌會始めは二十三日鳳凰の間に於て執行せらる諸訓其他の諸役それぞれ任命せられたり

北京特電

▲退位と連日會議　清帝退位に付て每日皇族會議を開けるも善後策に迷ひつゝあり

▲太后退位同意　皇太后も大勢已むを得ずとて皇帝の退位に同意し目下年金問題のみ決定に至らずと

▲慶親王の憤慨　慶親王は形勢の日に清皇室に非なるに憤慨し且り又袁世凱の措置は信なし義なしと叫べり

▲刺客の自白眞乎　狙擊者貴州人黃自朋は予は革命黨員なり黃興元帥の命を受け北京に潛伏し袁を狙擊せり袁は滿朝を維持せんとし外國人に援助を求めたり之れ明に國賊にして許すべからず加之慶親王等も暗殺すべく革命政府より依賴を受け居れりと自白せり

▲孫文袁に打電　孫逸仙は袁世凱に對し此際皇帝にして退位を快行せば更に鞏固なる政府を建設するため民國政府を撤廢して新に大統領選擧を再行するに同意すべき旨打電せり

▲刺客取調秘密　袁世凱を東安門內丁字街に於て狙擊したる兇漢は嚴重に取調を受け居れり之に關し法部は固く秘密に附し袁も又語らず

上海特電

▲共同內閣組織　官革協議　兩軍代表者は清帝退位後の共同內閣組織案を協議し十八日の會合に於て袁世凱を大統領に孫逸仙を副大統領となすに一致せり

▲雲南省の密謀　雲南省は獨立せんとして密かに代表者を加防府に特派し佛國官憲と交涉をなしつゝありと雲南にして獨立を宣言せんか第二の外蒙古と同じき結果を見るに至るべしと

南京特電

▲程德全の死去　革命軍政府內務部長程德全は遽かに死去せり南京政府の驚愕一方ならず死因不明或は毒殺せられしにあらずやと目下取調中なりと

▲官軍の列車粉碎　官軍一千名を乘せたる列車定州附近に於て地雷火にかゝり粉碎せられ生存するものなし

雜報

●水力調査方針　公表　目下其筋にて着手しをれる水力電氣調査の結果に付ては內地及在鮮事業家の企業資料として各江各所相當精査をなしたる結果有望なる地點に對し事業經營上幾何の投資如何なる設備を要す可きか等に至る大體の設計を調成公表すべき方針なりといふ然れども元來水力調査なるものは精細なる研究を要し雨量水量等三四年の平均率を觀測して始めて確否を定むべきものなるを以て勿論事業家は實地に更に自家の精査考究を必要とすと

●鑛業諸株上下　モリス氏經營アメリカ鑛業會社の株式は所有金鑛の好望なる爲目下拂込の二倍を以て賣買せられ遂安金鑛株は最近五割の配當をなし各株主は同期迄に拂込金の全部を回收したる由なるも鑛脈に變化起りたるやにて株式賣買價は下向を示し雲山金鑛株は燃料欠乏の爲目下下向なる由なり因に稷山金鑛株は目下整理期中にあるを以て市場に取引を見ざる由なり

●昨年の前半期關稅收入額　昨四十四年四月より九月に至る前半期間の關稅收入は仁川九十六萬五千二百七十二圓三十二錢五厘釜山五十九萬三千七百五十七圓二十錢鎭南浦三十三萬三千百八十五圓四錢元山二十一萬六千三十六圓十八錢合計二百十萬八千二百五十四圓七十四錢五厘にして前四十三年の同期に比し五十六萬千八百三十二圓九錢五厘の增加なりと云ふ

●朝鮮開發と鑛業　朝鮮の開發は種々の方法に依るべしと雖も就中產業の開發は之れが重もなるものにして又現今の急務たることは言ふ迄もなし而して產業の開發中鑛業の開發は先づ之れが主たるものなるべし世人も知る如く朝鮮は農業國にして米穀の移輸出年々多きを加へ又內地人農事經營者の續々移住するものあるは喜ぶべき現象なりと雖も獨り朝鮮は農事國のみにあらず一面鑛業國といふも敢て不可なしされば比年朝鮮に於て內地人の鑛業に從事し又は鑛業權獲得の許可申請を爲すもの多きを加ふるにいたれるが悲しむべきことには未だ基礎の堅實と事業の盛大とをいたせるものは少數に過ぎず之れ一は例の空權屋の投機的行爲に出づるものあらんも要は鑛業經營として相當の年所を經ず又從來鑛業に着目するもの少なきが爲めなるべし而して他の事業はサテ措き鑛業は其の土地に於ける利源を比較的長きに亘りて收得し兼ねて中には貨幣ともなるべきものあるを以て之れが開發は直接國家に利するものたることは言ふ迄もなし明治鑛業會社にあつては豫てより此の點に着目し一昨年平安北道の或る個所に於ける金鑛を踏査し中には既に出願の手續中のもの一二個所あり將來果して好成績を得るや否やは測り知る能はざるも要するに爰一兩年を經ば優に着手の期にいたるべしと入京中の在若松松本明治鑛業會社長は語れり

●朝鮮の電氣會社　朝鮮に於ける電氣事業を營める會社は左の如くにして其原動力の瀛力によれるものは韓國瓦斯、仁川電氣、日韓瓦斯、木浦電燈、平壤電氣、朝鮮電氣の六株式會社にして瓦斯力によれるものは鎭南浦電氣、大田電氣、群山電氣、開城電燈四株式會社にして元山電氣株式會社のみは水力によれりと而して其目的電燈及電力供給をなす事は何れの會社も悉く同一なれど此外に韓國瓦斯、日韓瓦斯の二會社は電氣鐵道及び瓦斯の供給をなし朝鮮電氣は電氣鐵道を平壤電氣は電氣に關する設計並に工事請負を目的の中に加へをれり因に左表中發電力は皆キロワットを單位とすれど獨り鎭南浦電氣のみは『キロヴオルトアンペ』を單位とせり

會社名	資本金（圓）	發電力	所在地
韓國瓦斯電氣	三〇〇〇〇〇〇	一八〇	釜山民團
仁川電氣	一五〇〇〇〇	二〇〇	仁川府內
日韓瓦斯電氣	六〇〇〇〇〇〇	一二九五	京城府內
同上馬山支店	……	五〇	馬山府內
鎭南浦電氣	一五〇〇〇〇	一一〇	鎭南浦府
大田電氣	八〇〇〇〇	一〇〇	大田
群山電氣	一六〇〇〇〇	七五	群山府
木浦電氣	二〇〇〇〇〇	六〇	木浦府
大邱電氣	一〇〇〇〇〇	一五〇	大邱府
平壤電氣	三〇〇〇〇〇	二〇〇	平壤府
元山水力電氣	一五〇〇〇〇	一五〇	元山府
朝鮮電氣	六〇〇〇〇	一四〇	清津
開城電氣	二五〇〇〇	四〇	開城

●南大門驛幹線と當局　京城商工調査會にては昨年十二月の總會當時より歐亞鐵道直通後は荷客の利便上幹線たる南大門驛を通過驛とし從來の如く態々龍山より南大門驛に立ち寄らず同驛より直ちに京義線に聯絡せしむる爲め一山驛邊より直通せしむべく協議し總會に於ても決議したること既報の如くなるが右に關し大居長官の意見として聞くところに依れば現今のところでは差して其の必要なきも將來交通の頻繁となれる日に於ては必ず斯くなさざるべからざるは言ふ迄もなく依つて豫て鐵道局に於ては之れが調査を爲したるが其の結果に依れば西大門驛よりするは至極難事にて最大の工事費を要し又南大門驛よりするも道程險惡にして且つ隧道を穿たざるべからざるが西大門驛に比すれば困難ならず敢て當局に於ては之れが工事の計畫はなきも前記の如く將來に於ては必ず斯く爲すにいたるべしと語れりといふ

各銀行會社營業成績（三十）　明治四十四年下半期

△土佐紙會社京城支店▽　……中內京城支店長談……

四十四年下半期に於ける土佐紙株式會社京城支店の營業成績は其の總賣上高百十二萬圓にして品種は和洋紙相央ばし之れを要するに其の賣上總額品種の賣行割合共に前年下半期に比して大差なきが只當下半期に於ては五月より九月の中旬に涉りて賣行盛なりしは例年の下半期と異なる現象にして例年下半期中七、八、九月の上半月は常に和洋紙共に賣行減少を來すものなるに當下半期は斯の如き反對の現象を生じたると共に其の例年最も賣行繁忙を極むべき十月以降に於て其の沈滯を示すに至りたり是れ昨年十月以降の朝鮮經濟界が一般に不況なりし影響に外ならざるべきを信ず而して昨年下半期に於ける和洋紙相場は洋紙は輸入稅の關係上又た和洋は原料の拂底より何れも騰貴し大阪に於ける有數の和洋紙商等は此の現象の來るべきを豫想して和洋紙の買占めを行ひて人爲的に價額を暴騰せしめ利益を占めしものあるも當京城の如き假令如何に見越し移入を試むるも敏活なる商取引の行はれざる地に於ては何等商業上利することなく然らぬだに一般經濟界の不振と共に賣行捗々しからず品多を告ぐるの結果は彼の模造紙の如き却つて當地に於ける相場の內地に比し格安なるの觀ありき又た當下半期の利益金は前年同期に比し一般社會が漸次洋紙の鑑別力を養ふに至り前月の如く巨利を博するの機なきに至り所謂薄利多賣主義を採るに至りたるを以て稍々減少を見るに至りたり

●部長會議終了　去る十五日より總督府に於て開會中なりし各道內務部長會議は十九日午前前日より諸問事項なる農商工部の主管に屬するものと度支部及警務總監部に屬する諸問事項の答申を終り午後四時散會したり因に寺內總督の各內務部長に對する訓示は既報の如く二十日午前十時より同會議室に於てさるべしと

●紙卷煙草と鮮人需要　京城に於ける紙卷煙草の需用趨勢に就き聞く所に依れば彼等も近來其の生活狀態の向上と共に紙卷煙草に對する嗜好も亦進步して從來の如く廉價なるものは殆ど之れを顧みず漸次其の原料葉の辛味たり甘味たるに拘らず所謂味ひあるものを嗜好するに至りたる由にて即ち成川寧越谷山金城廣州葉を原料とせしものを歡迎する傾向あり彼の廣江商會に於ける昨四十四年一ケ年間の鮮人向紙卷煙草製造賣上高さへも菊水三億六千八百九十四萬五千本朝月五千百〇一萬五千五百本西瓜九千四百七十八萬本常盤四百〇一萬本八島二百四十一萬六千本常盤木二十九萬八千本虎二千九百三十六萬本麒麟十五萬一千萬本に上れりといふ

●定例長官會議休會　十九日總督府に於ける定例長官會議は重要事項なきを以て休會したり

●京城民會開會　既報京城民會は十九日午後三時より民團樓上に於て開會民團役所隣接空地買收の件、民團稅制整理案及び屠獸問題につき討議し七時散會したり

●朝鮮在籍汽船總數　度支部調　朝鮮在籍船舶に係る四十四年十二月末日現在朝鮮在籍船舶數及噸數を聞くに左の如し

噸數	船數	噸數
二十噸以上五十噸未滿	三	六六六、三九
五十噸以上百噸未滿	三	九二九、八九
百噸以上二百噸未滿	四	六一七、九九
二百噸以上三百噸未滿	一	二一六、三三
三百噸以上四百噸未滿	一	三八六、一七
五百噸以上	一	五七二、三五
七百噸以上	二	一、四八八、三三
八百噸以上	一	八六、四二
千噸以上	三	三、五六一、四九
計	四八	九、二五七、三五

●仁川と第一艦隊　第一艦隊安藝香取三笠敷島の四艦は出羽中將引率し十九日午後五時仁川入港久水府尹岩崎仁川民長宮木稅關長等は旗艦安藝を訪問せり

●府廳前道路擴張　京城府廳前より南大門通りに通ずる道路は往復頻繁となれる今日狹隘に失するを以て客年十月京城民團より其の筋に建議中なりしが其の筋に於ても之れが取擴げの必要を認め近々の中より土地家屋の買收に着手すべく而して右取擴げ區域は多分京城府廳と南部警察署の前面家屋を取拂ふことゝなるべしといふ

●艦隊と臨時列車　鐵道局にては第一艦隊仁川碇泊中特に乘組員便宜の爲京城及仁川間に連日左の臨時列車を運轉すと

仁川發午前八時五十分南大門驛着午前十時十分

南大門發午後三時三十分仁川着午後四時五十分

●艦隊將校見學　第一艦隊乘組將校の京城に於ける二十日の見學順序を聞くに午前十時十分南大門驛着同所より電車にて景福宮を見宮內秘苑、動、植、博物館等を觀昌德宮裏門總督府醫院前より電車にてパゴダ公園に到り同所より徒步京城ホテルにて午餐會に臨み午餐後南山附近を見學の筈なりと

●督邸晚餐會　前報の如く寺內總督には十九日午後六時より山縣政務總監各部局長官各局長並に內務部課長以上を招待し晚餐の饗應あるべし

●總督海軍將校招宴　寺內總督には二十日正午京城ホテルに第一艦隊乘組將校全部を招待し午餐の饗應あり

●仁川の艦隊幹部招宴　仁川民團にては入港の第一艦隊出羽司令官及各艦長幕僚等十數名を八坂樓に招待款迎宴を張る筈にて日取りは艦隊の都合により二十二日若しくは二十三日となるべしと

●外人鑛業會社許可　豫て出願中なりし忠淸南道稷山鑛業株式會社（資本金二百萬圓）は本月廿日付を以て代表者なる同會社取締役社長ゼーアールゲーリーに此程許可されたり

●鮮銀移轉式次第　二十日新築營業所に移轉すべき朝鮮銀行の移轉式に付き其次第を聞くに當日は午後二時三十分より來賓一同各室の縱覽を爲し奏樂を相圖に式場へ入り市原總裁の簡單なる挨拶あり續て寺內總督、度支部長官代理、商業會議所聯合會代表者、京城銀行集會所代表者の祝辭終りて後奏樂を相圖に地下室に入り模擬店を開きて散會の順序なりと云ふ

●東拓の貸付耕牛數　東拓會社にては昨年より各出張所管內に於ける鮮人小作人に對し耕牛を貸付し居れるが現在の貸付數は鷄島の四十八頭水原四十一頭咸城十五頭榮山浦二十五頭大邱二十五頭沙里院二十九頭計百八十三頭なりといふ

●鴨綠江架橋技師敍勳　鴨綠江大鐵橋架設工事に關係せし總督府鐵道局技師岡村初之助氏は勳四等に敍し旭日小綬章を授けられ同局技師山田龜治氏は勳六等に敍し單光旭日章を同局技師中野深氏は勳六等に敍し瑞寶章を授けられたり

●店員表彰式の延期　京城商店々員表彰式は既報二十日午後一時より商業會議所內に於て舉行の筈なりしも都合により二十五日に變更延期したるが當日は民間の有志は勿論一二の大官臨場すべしと

●民團の隣接地買收　京城民團にては旭町一丁目同廳舍隣接空地（約三百坪）を買收すべき計畫あり十九日開會の民會に附議したるが右は近時民團事務繁忙のため現在の廳舍にては不便を感ずるを以て建增工事を行ふが爲めなるべしといふ

●京城小學校生徒數　京城民團立尋常高等小學校現在の生徒數を校別に依つて揭ぐれば日の出小學校千百名南大門小學校千五百名櫻井小學校七百三十名新龍山小學校七百名舊龍山小學校四百名合計四千四百三十名なりと

●鮮銀新築行舍開業期　朝鮮銀行にては既報の如く二十日官民千二百名を招待し長谷川町新築行舍に於て其の落成式を舉行せるが右新築行舍に於ける營業事務は來る廿八日の日曜日より卅日の大祭日に涉りて移轉を了し來る二月一日より開始する豫定なりと

●朝鮮製紙會社の開業　李址鎔を社長とし豫て開業準備中なりし龍山靑坡町朝鮮製紙會社にては十七日より事業開始をなしたりと

●赤十字社の晚餐會　赤十字社朝鮮本部にては各道內務部長を招待十八日午後六時京城ホテルにて晚餐會を催ふし山縣本部總長其他出席山縣總長の挨拶あり帆足氏來賓を代表謝辭を述べ午後九時散會す

●京畿道と改良米　京畿道管內に於ける昨年改良稻の作付反別は四百八十九町一反四畝にして其の收穫高六千六百七十五石五斗なし併して其品種は早神力、紫團、多摩錦、石白、善七、小町、陸稻オイランの七種なるが內早神力最も成績好良なりしと

●京畿山林副產物　京畿道に於ける國有森林山野及民有山野より產出する蘭茸、陶土、落葉、栗實等の副產物は一ケ年五十七萬一千六百二十一圓なりと

●山縣少將の艦隊出迎　總督府附武官山縣海軍少將は十九日午前十時南大門發第一艦隊出迎の爲仁川に赴きたり

●大邱管內區裁判所判事會議　大邱地方裁判所にては二十日より管內區裁判所判事會議を開く由

●龍山小學校の落成式　兼て建築中なりし京城民團立龍山尋常小學校は去る十五日落成したるを以て十六日より授業を開始したるが現在の生徒は四百名なりといふ尙來る三十日新築落成式を舉行すべしと

●民團滯納稅處分嚴行　京城民團にては稅制整理案も略ぼ完成を告げたるを以て此の際を期し滯納稅金の處分を嚴重に行ふ由なり

●通信局員珠算競技會　郵便爲替貯金管理所に於ては來る二月十日春季第一回の珠算競技會を開き所員の大競技を行ひ各優劣により等級を決定すべく新年早々準備中なりと

▲公人私人

▲佐々木唯市（東亞煙草理事）十八日內地より歸着

▲原勝一（民團議員）同上

▲葛西萬司（建築技師）十八日天眞樓へ

▲松原一雄（元長春領事）同上

▲菊池謙讓（大邱民長）十八日浦尾へ

▲高根信禮（木浦民長）十八日巴城館へ

▲井上權之助（百三十銀行釜山支店長）十八日不知火へ

▲京城手形交換高▼

一月	金高	枚數
十九日	一一一、三八五、一二〇	四一六

▲茶袋▼

頃者政界の一部に官僚打破論が又々唱道せらる、官僚打破せざれば眞摯なる政治を見ること難きは夙に何人も認めて居る所で、今に始まつた事ではない其之を實際に於て遂行することの出來ないのは、要するに民黨の聯合が鞏固でないからである、而して民黨の聯合が鞏固ならざるは政友會が政權近接を急いだのに原因する、そこで政友會の現狀にして改たまらぬ限りは、官僚打破は言ふべくして行はれざる議論に終るであらう▲今日の電報欄にある如く支那の皇大后もトウトウ皇帝の退位に同意せられたといふ事であるが、其茲に至らしめたものは孫逸仙が皇帝退位後に於ける保障をしたので、清皇室に於ても寧ろ穩便に其位を退きて宗社を保つに如かずとの心が起つたものと解して可なり▲昨皇帝退位の動機が孫文の保障から來たものとすれば、皇族に用費を誅求しながら革軍討伐に付ては斷乎たる所置に出でざりし袁世凱に對する皇族連の不信用は此場合必らず起つて來る、其間に於ける袁は如何なる策を用ひんとする乎是れ注目すべき問題である▲當地商業會議所總會にて決議せし、滿洲一帶及び上海方面視察團の組織計畫は、頗る時宜に適したものである、百聞は一見に如かず、此計劃にして公表せられた曉は、當地各方面の人々は擧つて之に參加し、他日活動の素地を作るべし、無論朝鮮鐵道や南滿鐵道は此擧に對して多大の便宜を與へることであらう。

●京城の女學生

京城居留民團立高等女學校 三浦直氏談

次ぎに衣服調度のことであるが之れは外見に現はれてゐることであるから御覧の通りであるが華美の風が流行する殖民地に在つて比較的富裕なる家庭に育つてゐる子女としては一般に質素である乍然中流以下の家庭から觀へば華美に見ゆる衣服も上流の家庭に於ては之れが普通なのであるから

相應しいものを身に纏はれんことを希望する要は虚榮虚飾に憧がるゝ女性の精神を矯正して質實なる風を涵養するにある故に女教師に對しても派手な風態をすることは深く戒めてゐる處が或る生徒の父兄の中には當地の女學校生徒は餘りに殺風景であるモ少し優美な風をさせた方が女らしくて良いなど云ふ樣な意見を抱いてゐる人もあるが是れは學校の全体を知らぬからで眞に困つたものである。

終りに當校の**教育方針**は一見學問本位の如く見ゆるかも知らぬが實は學問本位ではなく家庭の上に重きを置いて學問を家事向きに結び付けることに努めてゐる**女が學問**した

結果往々男性的の女性と云つた變挺なものになつて了ひ女性の誇りとすべき同情心とか純潔なる愛とか云ふ優しい麗はしい情緒が失せ議論を數理的に考へて理窟詰にすると云つた風になり婦人の徳行の源たる**從順の美**

徳が無くなつて了ふことがある又動もすれば獨身生活を主張したり男女同權を唱へたりするものが現はれるが

獨身生活を續けた結果は什麼かと云ふに餘程意志の堅固な人でないかぎり平調を失つてヒステリー性の婦人となつて了ふ或る職業に就ては獨身の婦人を要することもあらうが生理上の關係から來る影響が遂に斯かる婦人をして**人の妻たり愛兒**の**母たるに不適當**なる精神上の不具者となることあるを忘れてはならぬ又男女同權など云ふ奇矯なる議論が到底實現し得べきものであるか否か成程德義上より論ずるならば男女は同權であらねばならぬであらうが社會上の位置から見たならば啻に体質上から云つても識者の一顧をも與へぬ問題である恁うした思想に捉はれた人が生徒の中に現はれるやも計られないので此點に關して當校では餘り道理を詮はずに直ちに頭上から而も強なる威壓を加へつゝある學問を生嚙つた結果が婦人の玉の如き温和を缺ぎ甚だしきは生意氣になると云ふことは頗る慨歎に堪へぬことで常に深き注意を拂つてゐるソレから

當校の卒業生は四十二、四十三、四十四の三回に合計八十名であるが中結婚した人が三十名進んで東京に遊學したのが五六名當地で郵便局銀行等に奉職してゐる人が三四名あり他は家庭に在つて家事に勵んでゐる(存文責記者)

●出稼ぎ二日女房

▽馬鹿を見た煎餅屋

當地壽町一丁目商業會議所の邊に櫻井某と云ふ色男あり其内縁の内儀はんは勝俣よしと呼び當年取つて二十七の年増盛りで三味も彈けば花も引きたい夫に就ては此年増盛りを遊んで居るも勿体ない一つ何處へか藝妓に住み込んで前借金を受取つたら此方のものよねと貴郎と奥齒に菜葉が挿まつた如な相談を纏め扱諸所口を掛けて試たが一向ものにならず斯樣等では御座んせぬ筈だがと妙に不思議がつて居ると捨てるカミあれば拾ふ紙屑拾ひありとやらで或る物好な閑人あり旭町二丁目の開進亭の帳場は至極の好人物なれば御周旋申さうと表面は藝妓として裏面はお前さんの妻に兼用されても差支へないから抱へて呉れまいかとの事に帳場さん目下差當つて妾の必要は無けれども藝妓は欲しいと思つてゐる處だから一應本人を見て試驗の上抱入るゝ事としませうと好人物丈に物事も几帳面な話しに世話した人も尤もな次第とそれよしに斯くと告げた目見得に罷出でさした處僅に二日の試驗に不合格な暇と成つて爾來爲すこともなく差向ひで暮す内に鼻の下の運動が覺束なく成つて來て見ると今はモウ生きるか死ぬかの境目なり一生懸命死物狂ひに鼻の下の長い敵手を探して居ると天未だ之よしを捨て玉はず旭町一丁目の煎餅屋の主人某が女房に死に別れて後釜を探して居るとの事を耳にし早速運動の結果、双方とも餅じい時の不味い物なし早速談判成立すると同時に衣類受質費として五十圓を貰受けたのでたゞしの方の用はモウ濟んだのだが煎餅屋の方の用も濟まさせて置かぬと跡が面倒なりと厭々ながら朝鬢のほつれを撫で上げ乍ら左樣ならとも云はず情人櫻井の許に驅け戻り『貴郎淋しかつたでしよう、勘忍して下さいね』と甘つたれて居る一方煎餅屋の主人は夫れと知つて『二日二晩で五十圓は酷い切めてモウ五日も居て呉れゝば』と口惜涙を流して居るが夫も少々虫が好過ぎる。

●牛肉屋と料理人

▽ロースの行違ひから

飲食店板場と牛肉屋との間に傷害事件ありたり加害者は旭町三丁目飲食店夫婦庵板場徳島縣人高田繁藏(三八)にして被害者は本町一丁目石田牛肉店主人森田某なるが事件の動機は夫婦庵と石田牛肉店とは牛肉の取引關係あるより十八日午後二時頃加害者繁藏は石田肉店に上等ロース二斤半を電話にて注文せしに小僧が持ち來りし牛肉はロースにあらずして下等なるより板場はロースの注文に斯樣下等の牛肉を何故持ち來りしかと小僧に向ひ散々毒づきたる上客の間に合ぬより上等の部分を切り取り下等の部分を取替へて來いと小僧に持せ歸したるに小僧は斯くと被害者なる主人森田に告げしかば森田は短氣の性質なるより赫となり夫婦庵に怒鳴り込み板場の繁藏に食つて蒐り爭論の末森田は繁藏に拳を揮つて打ち掛りしかば繁藏は此畜生小生意氣なと組合ひ森田を突飛し頭部に負傷せしめたるより目下南部署にて取調中なりと

●水道給水栓使用者

▽と水道當局者に注意

嚴冬の候に入れば當地の如き寒氣嚴しき土地にては水道栓の凍結を見るは勢ひ免る能はざる所なり現に東京大阪等に於てすら此事あり爲めに水道栓使用者は冬期に入れば菰又は襤褸を以て之れを卷き立て凍結を防止しつゝあるは普く世人の知る所なるべし、當地の使用者中に在りても其用意を爲したる向もあらんが往々此用意を怠り**凍結を防ぐ方法**として就寢前より**徹夜水道栓を開放**し置く向ありと聞く、使用者中の多數者にして此擧に出でんには一朝非常の際不測の災害を招く因を爲すに至るべし、共用栓に對しては當局に於ても責任なしと云はれず一般の注意を促がす(一記者)

●アヒ酸自殺未遂

▽暫時の別れが辛い迚

十七日夜黄金町酒井伊太郎内縁の妻安藤ミツ(一九)は自宅に於て『アヒサン』を服用して自殺を圖り苦悶し居るを銅峴分署に於て發見し直に醫師を派し加療せしめしが死に至らず一命には別條なし原因は夫伊太郎が第五師團へ入營中の處父市太郎病氣看護の爲歸京中なりしが其歸營に際し離別を悲しみたる結果なりと云ふ

●麻浦の二人強盜

▽貴金屬類を強奪

十八日午後七時三十分頃龍山坊麻浦三十七統八戶李秉均方に二名の鮮人強盜押入り下女を強迫して案内せしめ物置

●勤續店員の略歴(三)

來る二十日京城日本人商業會議所に於て京城各商店の店員中滿五ヶ年以上の勤續者に對し表彰を行ふ筈なること既報の如くなるが今左に表彰さるべき人々の略歴を列記せんに

▲折田市藏君● 明治十四年鹿兒島縣出水郡阿久根村に生れた本町四丁目山口呉服店に入つたのが三十五年の十月でソレ以來滿八ヶ年を送つた商賈に熱心なのは云ふまでも無く會計事務に長じてるそうである

▲大戶隆治君● 福岡縣築上郡千束村の產で當年取つて二十四歳明治三十七年の一月から六年以上を本町三丁目龜屋商店に勤めてゐる性は從順で決して客を外らさぬ相だチャーミングな顏をしてゐる

▲竹岡儀三郎君● 生れは滋賀縣大津市東今嵐町年はヤット二十四歳渡鮮したのが三十七年の三月で南大門通四丁目尾能雜貨店の支店開設と共に支店長として今日迄精勤してゐる商業英語に巧みだとか

▲遠藤扶治吉君● 岐阜縣稻葉郡茜村明治六年生れで十三歳の時から現主廣江澤次郎氏の家に奉公し三十七年朝鮮に店主と共に來たり長谷川町二丁目に煙草製造業を開始した君は工藝品の製作に巧で機械の使用にも天稟の才がある

▲秦助市君● 本年二十三の春を迎へたばかり三重縣四日市北町の產で三十七年四月南大門通りに丁子屋の支店を出すと共に入つて今日に至つてゐる

▲阿津坂義太郎君● 明治十四年生れ原籍は福岡縣三潴郡大川町で二十九年渡鮮し商業に從事してゐたが三十四年一度歸國し三十七年八月再び渡鮮して滿五ヶ年以上を本町五丁目釘本金物店に勤めてゐる朝鮮語は頗る巧みだ相だ

内より純金弁一本價格五十圓外弁二十本八十七圓純金指環一個五十圓其他雜品價格八十圓合計約三百圓の物を強奪逃走したるが該犯人は兩人とも勞働者体の奴なりしと

●喧嘩を飲んだ男 仁川支那町新川淺次郎方山口縣生川村島次郎(三四)と同花房町福田方同縣生林定助(二七)は十八日午後十時頃互に飲酒中口論を初め川村は一升德利を取るや否や林の前額部を擲り付け治療十日間を要する負傷を負はしめし騒ぎに川村は直ちに拘引せられ目下取調中

●時計泥棒の逮捕 京畿道揚州郡德水洞當時住所不定鄭明雲(三五)は旭町二丁目時計店福井五十吉方外數ヶ所の時計店に忍入り懷中時計數十個を竊取し入質遊興費に消費したる事南部署荻野川瀨の兩刑事に探知され目下取調中

●海より出て海に返る 仁川本町朝日組所有解船鹽津丸は一昨日午後五時半頃鹽を滿載し萬石洞海岸航行中風波の爲め浸水沈沒す損害金七百圓なりと

●仁川のボヤ二件 十八日午後五時半仁川宮町一丁目安田又四郎方榾炬燵より失火布團二枚を燒く▲同新昌洞三統四戶孫義模方にて同日午後八時三十分頃洋燈より發火しオンドル半燒せりと

●淨土宗青年會 二十日午後六時より大和町淨土宗開敎院にて第四十七回講演會を開催すと演題左の如し

世渡りに就て　山崎開敎師
最近の感想　會友

●禁酒會員親睦會 二十日午後七時半より旭町二丁目名古屋城に於て京城禁酒會員は新年親睦會を催す尚當夜は餘興として筑前琵琶、落語、西洋奇術等の催しありと

三行雜報

●竊盜 西部阿峴住趙點童(十四)は同洞趙汝章方にて衣類數點を竊取し直に同街路にて卅錢に賣飛せし事發覺被引致

●是又 住所不定朴用泰(二三)は十八日太平町李某方にて古洋服數點を竊取し同日西大門分署金、鄭二刑事に捕はる

●赤痢 龍山西江面倉前里李仲三(五三)は疑似赤痢病に罹れる事戶口調査に際し判明し十八日順化院に收容されたり

●棄兒 十七日午前北部安國坊紅峴元致弘門内に生後約四ヶ月位の女兒を金巾にて裹み遺棄せし者ありと吁生活難

平民文庫

▲木浦奧に虎狩を試みた英人バークレー氏の談話が釜山日報に掲載せられて居るが京城日報社特派記者外交部長上田白川子の記事と對照すると頗る興味の津々たるものがある、故に要領を轉載する▲僕(バ氏)を男爵だの大使館員だの云ふが皆嘘だ、僕は元來獵師なんだ朝鮮での虎狩は此で三回目だ(中略)或る新聞には僕が猛犬を何匹引具したとか虎を誘ひ出す爲めに何頭かの牝牛と豚とを連れて行つたとか書いてあつたが皆嘘だ▲僕の同勢は朝鮮人の獵師一名通譯一名厨房子一名只是れ丈けなのだ▲そして日本人は一体に氣が早い早く言へば氣が短いのだ、今度にしても虎狩に出掛けたと言へば直ぐにも獲れる樣な積りで或る新聞社の如きは記者を特派した樣なのもあつたが仲々そう容易くは問屋が卸して呉れないハッハ・・・(後略)▲京城日報を捉へて或る新聞は船だ、夫れから此に依ると上田白川子とは話もしない如だが白川子に言はせると馬鹿に懇親な筈だのにサ▲バ氏の言が眞實ならバ氏は虎の皮許りでなく化の皮も剝ぐな▲京日子の記事が眞實ならバ氏は大嘘吐だ▲讀者諸君々何うしたら好いんでしよう(小僧)▲十八日の夜某々等と江戶川へた飯を喫べに行つた『判つたよ』なんてた冷評では恐れ入ります▲スルト隣室にかしわをチワ付かせて居る一組の客があつたが其内の甲は物に怯ねた如な聲で『アッ君芹は不可んよ芹は、ヂストマ菌が一パイだぞナ』と身震ひをしたらしいスルト乙は濁みたる聲にて『セリが其樣に毒かい、フムー、チヤ三八競賣の主人はセリで食つてるから肺に罹つてるだらう』と駄洒落れて聲を合せて笑つて居る▲と又別の人の聲で『君、葱は可いだらう』と云ふと甲の聲で『葱は殺菌力があるから可いさ』と言ると乙の聲で『成程殺菌力のある間は大丈夫なんだな』甲『左樣サ』乙『仁川の秋田毅が駄目になつたも無理は無い』甲丙『何故』甲『彼には最早シャッキン力が無いものな』と洒落のめして居た▲芹は鬼に角として芹は果して其樣に危險かしら(風聞子)▲京畿道水產組合代表者代議員として池末登一郎を擧げたる仁川支部は組合員を侮蔑したものだ(總代)▲○○分隊は特務曹長が來から蜂の巢を壞した樣に滅茶々々だ困たものだと加藤さん時代を繰返す丈だ」(被損害生)

((東京日本銃砲店新輸入))

● 祝 關税改正と狩獵税低減 特別一割引乃至二割引の大廉價販賣 (營業案内上下二冊無料郵呈 獵友雜誌毎月發行見本二十錢)

(自八番至四〇番)
英國製二連獵銃 價三十五圓以上
同 無鶏頭新式 價八十五圓以上

(八番より四十番迄)
米國製單身獵銃 價十八圓以上

(最新式ブローニング自働拳銃)

(十二番十六番 價百五十圓)
米國ウインチスター自働六連發銃 價七十圓
米國レミントン自働六連發獵銃 價百圓
英國最上黑色火藥及ダイヤモンド新式火藥
(獵用ヘルメット帽及新式獵具類全備)

(護身用新形拳銃價四圓より種々 新式自働拳銃價三十圓より相揃)

東京日本橋區通三丁目 日本銃砲店
良品を廉價に販賣す(遠國注文代金引換小包にて販賣 無料送金は振替郵便一二三三番)

保熱計 價三圓八十錢以上

創立明治五年六月
資本金 百二十五萬圓
積立金 六十万七千圓

貨物運送取扱
危險擔保運送
貨物引換證發行
品代金貨物取扱
税關貨物取扱

内國通運株式會社京城支店 電話長一七〇八 一一二五

本店 東京市日本橋區佐内町二番地
支店 京城南大門驛前
釜山驛前 釜山出張所 電話三五七 一〇四
草梁驛前 草梁出張所 電話六一六
仁川驛前 仁川出張所 電話長一二八
龍山驛前 龍山派出所 電話五一一
平壤驛前 平壤出張所 電話長一〇六 二一六

優等懐中藥 口中香劑 仁丹 JINTAN

仁丹は
● 精神を快活に、胃腸を強健に食事を進め
酒タバコの毒をけし味を増す
諸君欠かさず御服用あれ

朝鮮代理店 京城新井藥房

腦病全治新藥 健腦丸

神經をしづめ腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

記憶力惡き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

定價 一日分十錢 三日分廿錢 七日分四十錢 二週分八十五錢 五週分金三圓
本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
分店 大阪平野町 東京日本橋
▲賣捌は全國有名藥店に在り

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八 振替口座京城十六番

高島易斷 旭町二丁目御嶽教 大韓義 山の内

新築落成御披露
京城長谷川町二丁目 佐藤旅館 電話八八九番

政宗 正則 清正 醸造元

酒 小賣壹升に付三十五錢 御賣は特別割引可仕候

清酒 味淋 焼酎 並に日用食料品雜貨類

醸造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして決達致さすべく候

精神感應 催眠術 諸病治療 無催眠 惡癖矯正

南山町二丁目 大剛庵 六十四番戸ノ二

齒科治療
本町六丁目(俗そば横町) ドクトル 中村安子 (電話 五八三)
女子見習募集委細面談

商標 えん熱おこりマラリヤ熱風邪つの良劑 キナエン丸

二包入五戔 五包入十戔 十包入廿戔 十五包入卅戔 廿包入五十戔

△キナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ

本舗 大阪四ツ橋西濱詰南 本林丁子堂
代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六八振替口座朝鮮十六番 新井藥房

移轉御披露
今般業務擴張の爲め明治町三丁目に移轉仕候間何卒倍舊御引立の程伏て願上候 敬白

紙巻煙草 月世界發賣元 京城明治町三丁目 大石商會出張所

株式會社 十八銀行支店 京城黄金町(銅峴) 電話四二〇番五八〇番

銀行一般の業務夫々御便利に取扱申候

○本店 長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

● 貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

比較ハ最良ノ選擇法ナリ

優等清酒 櫻正宗

醸造元 攝津灘 山邑太左衛門
醸造高 武萬余石

京城明治町一丁目(漢城病院前) 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

市内到ル所販賣店有之候ニ付櫻正宗ト御指定御買上被下度候

新荷着
厚物 薄物 浪板 平板 鐵板各種 各種垣用線

和洋金物商 京城本町二丁目 佐野彦藏商店 電話一六三三番 振替口座京城一二〇番

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜産物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切

京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
江華島 荒井第二牧場

○牛乳販賣は京城牛乳一手販賣所へ委託致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種夫々繁殖致候間御買求願上候

牛馬犬猫治療所 入院隨意
京城明治町三丁目 小川家畜醫院 院長 小川龜太郎 電話四二七番

◎ 誠ハ弊店ノ主義也

登録商標

醸造元 仁川山根町二丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號(フ)

各種上等石炭
△日本高名石炭名▽ 金谷炭 綠江炭 高津炭 唐無煙炭
△平壤産無煙炭名▽ 卵形煉炭 煉形無煙炭 瓦形無煙炭 無煙粉炭

石炭直輸入商 西崎商店 京城西小門通四十七番 電話七二七番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

朝鮮銀行 電話 壹貳六番 壹貳六壹番 六壹貳番

支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
右ノ外内外ヲ要ノ地ニ爲替取引先有之候

齒科診療
京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

● 母國よりも安い ●
携帯電燈 大一圓二十錢 中壹圓 小七拾錢
懐中電燈 大九拾錢 小七拾錢
電燈 小七拾錢
地方には即時小包發送

各種時計 眼鏡一式 貴金屬品 電燈附屬品

● 大々的の勉強 ●

販賣 金化堂時計舗 京城本町一丁目郵便局前 電話三一八番

酒精アルコール
直輸入元 仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ) 坂倉支店 振替口座京城五八二

本場精撰 茶

右銘茶各種新物續々入荷付に御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五

磨擦白米 龍山精米所

弦齋流割烹 す津祢 南山町一丁目 電話千五百二番

◎一月十二日左記の處に移轉仕候
▲貸金 確實保證者には無擔保にて精々便宜に融通申上候
京城旭町一丁目府廳より小路に入る二丁目 高橋 電話一五六番

商標 三味噌 京城南大門通二丁目 製造元遠藤廣吉商店 (電話九八二番)

入院隨意 中島醫院 京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

瀛船出帆廣告 一月中
三省丸 舊島行 一月廿四日前九時
安來丸 海州行 一月二十日前三時
成歡丸 市串行 一月廿一日前九時
海利丸 海州行 一月廿一日前三時
三省丸 大湖芝行 一月廿一日前九時

仁川本町四丁目 合資會社秋田商會船舶部 電話七五〇番
仁川本町一丁目 秋田商會船舶荷扱
荷客取扱所 仁川本町海岸通 柴田回漕店 電話四一九番
仁川本町四丁目 本回漕 電話五二二番